



長崎県医療的ケア児支援センター

(諫早市)



お話を伺ったのは
センター長
おかだ まさひこ
岡田 雅彦さん



つたエールけん

県内で頑張っている企業や人に
エール(応援)を送ります!

すべての人の幸福を願って

社会福祉法人聖家族会みさかえの園は、カトリックの精神に基づき、すべての人の幸福を願って1961年に設立されました。現在、諫早市と大村市において、医療型障害児入所施設、療養介護事業所、障害者支援施設などの運営を行っています。また、昨年8月に県の医療的ケア児支援センター※の事務局が諫早市小長井町のむつみの家内に置かれました。

※2021年に施行された医療的ケア児支援法に基づき県が設置し、聖家族会へ運営を委託



県医療的ケア児支援センターの事務局があるみさかえの園むつみの家



相談に対応する医療的ケア児等コーディネーターの井村弘子さん

増加する医療的ケア児とその家族を支援

医療的ケア児とは、日常的に人工呼吸器による呼吸管理やたんの吸引などの医療行為が必要な児童のことで、以前は入院や入所が必要でしたが、医療の進歩などにより、在宅でも医療行為を受けながら生活ができるようになり、その数は年々増加しています。しかし、実際に生活していく上では、保育園や学校への通園・通学など、さまざまな課題があります。センターではそうした重症心身障害児者および医療的ケア児者とその家族が地域で安心して生活できるよう支援を行っています。

関係機関の連携と地域の協力が必要

センターの主な業務は、医療的ケア児者とその家族からの相談への対応です。現在、県内には100名を超える医療的ケア児者がいて、開設後4カ月で24件の相談が寄せられています。相談内容は保育園や学校に関することが多く、回答には行政や医師会など関係機関との連携が必要なため、地域に出向いて支援体制の助言などを行っています。センターの愛称は「つなぐ」。今後も地域と医療的ケア児者をつなぎ、誰もが暮らしやすい社会を目指して活動していきます。



医療的ケア児等コーディネーターの養成研修もセンターで実施している

医療的ケア児とご家族が、地域で安心して暮らせるための支援を行っています

